第1494回　京都市教育委員会会議　会議録

１　日　　時　令和５年７月27日　木曜日
　　開会　９時00分　　閉会　９時50分

２　場　　所　京都市総合教育センター　第３研修室

３　出 席 者　教　育　長　　稲田　新吾
　　委　　員　　奥野　史子（オンライン出席）
　　委　　員　　笹岡　隆甫
　　委　　員　　野口　範子
　　委　　員　　松山　大耕（オンライン出席）
　　委　　員　　石井　英真（オンライン出席）

４　欠 席 者　　なし

５　傍 聴 者　　１名

６　議事の概要

（１）　開会

９時00分、教育長が開会を宣告。

（２）　前会会議録の承認

第1493回京都市教育委員会会議の会議録について、全委員の承認が得られた。

（３）　議事の概要

ア　議事

議案２件、報告１件

イ　非公開の承認

議案１件、報告１件については、人事に関すること、訴訟及び不服申立てに関すること及び個人の権利利益を害するおそれがある事項に関する案件であり、京都市教育委員会会議規則第３条に掲げる「非公開事項」に該当するため、京都市教育委員会会議規則に基づき、非公開とすることについて、全員の承認が得られた。

ウ　非公開の宣言

教育長から、議案１件、報告１件について、会議を非公開とすることを宣言。

エ　議決事項

議第５号　令和６年度に京都市立高等学校において使用する教科書の採択について

（事務局説明　小枝　学校指導課担当課長）

まず、教科書採択の過程について御説明する。

市立高校における教科書採択に当たっては、毎年、前年度に文部科学省において検定された教科書の中から、本市教育委員会が定めた「教科書採択に関わる基本方針」及び「選定の観点」に基づき、教科書選定委員会が審議をしている。

基本方針については、教育委員会として、全校種共通の内容がふさわしいとの認識のもと、新学習指導要領での初めての採択を行った令和元年度の小学校における基本方針等を踏まえ、すでに高校等についても議決しており、選定の観点を含め学習指導要領の変更等がない限り、継続して用いることとなっている。

今年度の選定委員会は、学識者や保護者代表を含む、39 名の委員で構成し、5 月 22 日に第１回目を開催し、令和６年度使用教科書の選定について教育長から諮問した。

その後､教科ごとに作業部会となる調査研究委員会が 16 部会に分かれて計 28 回開かれ、本市立高校の実情に即した最も適切な教科書について、精力的かつ慎重な審議を進めてきた。その作業に並行して、開かれた採択事務の一環として「教科書展示会」を、６月２日から７月３日まで実施した。

そして、７月 12 日に第２回目の選定委員会を開催し、選定委員会より選定教科書一覧表が教育長に答申され、本日、議案として提出した。

本日承認いただければ、京都市立高等学校の管理運営に関する規則に則り、各学校長が令和６年度に使用する教科書を決定する予定である。

続いて、学習指導要領と教科書採択について御説明する。

令和６年度は、主に第１・２・３学年が新学習指導要領に基づいて編集された教科書（教科書目録第１部）を使用し、主に第４学年が、旧学習指導要領に基づいて編集された教科書（教科書目録第２部）を使用するため、「高等学校用教科書目録（令和６年度使用)」の第１・２部に登載されている教科書のうちから採択する。ただし、昨年度以前から継続して使用する教科書のうち、「高等学校用教科書目録（令和６年度使用)」に登録されていないものは、併せて採択することとする。

続いて今年度の採択に係る検定教科書の特徴について御説明する。

今年度は、新学習指導要領の下での３回目の教科書採択であり、定時制の４修制を除き、すべての学年で新学習指導要領の教科書が出そろうこととなる。今年度新たに教科書が検定された科目は、説明資料にもあるとおり、「音楽Ⅲ」、「美術Ⅲ」、「書道Ⅲ」、「英語コミュニケーションⅢ」、「論理・表現Ⅲ」である。このうち、本市立高等学校においては、「英語コミュニケーションⅢ」、「論理・表現Ⅲ」の２科目の教科書を採択する予定。

「英語コミュニケーションⅢ」 は、高校卒業時につけさせておく英語力を育成するため、「聞くこと」「読むこと」「話すこと（やり取り)」「話すこと（発表)」「書くこと」の五つの領域別の言語活動及び複数の領域を結び付けた統合的な言語活動を通して、生涯にわたる自律的な学習につながるよう発展的に行う科目である。

また、「論理・表現Ⅲ」は、「話すこと」「書くこと」の発信する技能を、スピーチ、プレゼンテーション、ディベート、ディスカッション、複数の段落から成る文章を書くことなどを通して、聞き手や読み手を説得できるよう、論理の構成や展開を工夫して、詳しく伝える又は伝え合うことなどができるようになることを目標としている科目である。

なお、全体的な教科書の内容としては、旧学習指導要領下に比べ、議論を促す記述や考

察のための資料が増加し、探究的な学習を重視する傾向のある教科書が多くなっている。

続いて、選定教科書について御説明する。

表の教科ごとの欄の数字は、分母が検定済みの教科書数で、分子が今年度本市で選定した教科書の数である。具体的な採択教科書については「議案」の２ページ以降に、各教科・科目ごとに選定教科書を掲載している。

なお、各教科科目においては、それぞれの目標や教科科目特有の見方、考え方を育むために役立つか、という点を重点的に意識し、加えて、主体的・対話的で深い学びの実現につながるかという点や、カリキュラムマネジメントの観点から教科横断的な視点、あるいは探究的な学びにつながるかという点も考慮しながら、各校の特色に応じた教科書を選定している。

最後に、教科書展示会実施状況について御説明する。教科書展示会には合計 114 名の市民の方に御来場いただき、高校の教科書について寄せられた御意見は２件あった。

（委員からの主な意見）

【野口委員】　「英語コミュニケーションⅢ」に関して、コミュニーション能力を向上させるという観点から、どのようなところをポイントにして教科書採択を行われたのか。

【事 務 局】　「英語コミュニケーションⅢ」の教科書には、その単元に関する一般的な話題の文を読んだ後に、自分で考えることを促すような質問や、自分が聞いたもの、読んだものに基づいて、意見を出させたりするような発案が含まれていることが多い。そういった工夫がなされている教科書を採択している。

【野口委員】　英語コミュニケーションの教科書において、自国の歴史や他国の文化などを学ぶ大切さに気付くような、あるいは学ばないと先に進めないといった工夫がなされていると良い。

【事 務 局】　「英語コミュニケーションⅠ」では身近な話題、「英語コミュニケーションⅢ」では社会的又はより一般的な話題が本文で取り上げられており、学年が上がるにつれて社会的な教養が身につくような構成となっている。

【笹岡委員】　定時制４修制の学校が旧学習指導要領に基づいた教科書を使用するとのことだが、大学入試を希望する生徒が不利にならないか。

【事 務 局】　大学入学共通テスト等では、移行期間として、旧学習指導要領で学んだ生徒と、新学習指導要領で学んだ生徒で問題を分けるなどしている。また、基本的な知識・技能については、大きく変わることはないため、進学を見越した生徒については、授業等でフォローしながら学習を進めていくという流れになっている。

【石井委員】　教科横断的な視点が含まれている教科書を積極的に採択しているということだが、具体的にどのような形で、教科横断性やカリキュラムマネジメントが意識されていたのか。

【事 務 局】　例えば、公民科と家庭科の間で実施される、消費者教育・金融教育においては、社会的な観点あるいは、生活者の観点からリンクするように連携をしている。社会と家庭科においては、18 歳成人を受けて各教科担当者とも打合せしつつ、よりよいカリキュラムを考えていくということが行われている。また、どの教科においても探究的な学びが進んでおり、探究的な手法が、あ

る教科だけではなく、他の教科でも使えるだろうという観点で学びを広げていけるように意識している。

【石井委員】　「〇〇教育」という形で、トピックやテーマを意識しながらの横断性と、学び方の横断性を意識しているということか。

【事 務 局】　そのとおりである。その他、それぞれの科目で探究的な学びを意識しており、教員間でも日常的に話合いながら、日々教育を進めている。

【石井委員】　採択においてそのような視点を意識したとのことだが、教科書は使われることが大切であるため、単に教科書を選定した趣旨だけではなく、高校は教科縦割りということもあるので、それを問い直していくという方向での、実質的な授業やカリキュラムに活かしていく手立てが必要であると考える。

【奥野委員】　教科書採択でどのような教科書を採択するかということは重要だが、それを現場の先生方がどのように活かすかということがさらに重要である。今回、議論・探究型の新しい形の教科書が増えているということなので、現場でしっかりと活かしながら、世界に飛躍できるような若者を育成できる現場の活躍をお願いしたい。

【松山委員】　アメリカでは、盆踊りや茶道、合気道等の日本の文化が有効なコミュニケーションツールとなり得る。

【事 務 局】　教科書を選定するということは、自校の学びを研ぎ澄ませるという意味もあるが、それをいかに実践していくかというところの方が大きい。そのため、教科書選定委員である各教科の研究会の先生方には、中心になって牽引していただくようにとお願いをしているところである。引き続き、委員の期待に応えられるよう精進していきたい。

【教 育 長】　この間、特に小学校での授業スタイルが以前と比べて変わっているように感じる。教科書の内容が変わっても、授業が変わっていかないと意味がないので、研修等を通じて授業改善を図っていただきたい。

（議決）

教育長が、「議第５号　令和６年度に京都市立高等学校において使用する教科書の採択について」について、各委員「異議なし」を確認、議決。

議案１件、報告１件については、人事に関すること、訴訟及び不服申立てに関すること及び個人の権利利益を害するおそれがある事項に関する案件であるため、非公開

（４）その他

〇教育長から、前会会議以降の主な出来事等について報告

７月 18 日　五条坂京焼登り窯（元藤平陶芸登り窯）敷地活用に係る基本協定書の締結式

７月 20 日　市立学校園　夏季休業期間前の最終授業日

７月 21 日

７月 27 日

７月 22 日　京都市立高校生の坐禅体験会（妙心寺）

京都堀川音楽高校「第 50 回記念オーケストラ定期演奏会」

○事務局から、当面の日程について説明

（５）閉会

９時 50 分、教育長が閉会を宣告。

署　名　　教育長